

くにびき通信

2023年 7月号

大田市山村留学センター 三瓶こだま学園

はじめに

最近、久方ぶりに掌に小さなまめが出来ました。農家期間中にセンターのじゃがいもの土寄せ作業をしている時に、知らないうちにできていた手まめ。友人に毎日自転車通勤をしている人がいるのですが、その人も掌にまめが出来すぎて、掌がごつごつしていました。その人の手を見るたびに、「何だか私の掌は、まるで苦勞をしていないみたいだなあ」と思っていました。私にとって「掌のまめ」は、その人が今まで頑張った勲章のようなイメージがあるのです。

育てる会の方針では、学校までの道のりはあえて長く歩くようにしていたり、稲作体験もあえて昔ながらのやり方を踏襲したりと、「あえて苦勞する」機会が多いと思います。利便化が進んだ現代では、意識的に取り入れないと「苦勞」は得づらいものになっているのかもしれませんが。まるで野菜の栄養みたいですね。野菜の栄養については、何となく摂取しないといけないものだと分かるけれども、では「苦勞」を取り入れるべき理由とは一体何なのか？と考えさせられます。私はその出来た手まめを見た時、「自分は数時間前の自分より頑張ったのかも」と感じました。もしかしたらそれが、苦勞を取り入れるべき理由の答えなのかもしれません。

先日、学園生は五十猛祭で太鼓の演目を披露しました。その日に至るまで、学園生は太鼓で繰り返し練習するのはもちろんのこと、太鼓が使えない夜の時間帯はエア太鼓練習に励んでいました。特に今年から太鼓を始めた新規生は、掌にまめができ、場合によっては潰れてしまいテーピングを施していることもありました。太鼓の練習はたくさん汗もかくし掌も痛いけど、汗も潰れたまめもまさしく、本人が頑張った勲章だと思います。

正しい労力を重ねると形ある何かが育われ、目に見える形で現れます。それを目で認めたとき初めて人は自分の努力を認識し、「頑張ったじゃん」と成長を実感できるのかもしれませんが。私自身も、掌のまめを歓迎できる人でありたいと思います。手始めにダイエットを意識して、目に見える形での成果を得たいところです。

指導員 児玉 彩



今回の活動カレンダー



日にち	活動内容
7月1日(土) 曇り	キス釣り
7月2日(日) 晴れ	海岸清掃・海水浴
7月8日(土) 雨	サヒメル観覧・夕食作り
7月9日(日) 雨	図書館・バームクーヘン作り

日にち	活動内容
7月15日(土) 晴れ	五十猛祭・畑作業
7月16日(日) 晴れ ～17日(月・祝) 晴れ	海キャンプ in 島津屋

キス釣り 7/1(土)



当初サビキ釣りを予定していた釣り行事ですが、時期などを踏まえてキス釣りに変更したこの日。やや小ぶりではありましたが、とっても綺麗なキスをたくさん釣ることが出来ました。指導員以外にもセンター長や北三瓶小学校の釣り好き教頭先生が学園生の応援に駆けつけ、細やかなサポートのもと賑やかに釣りを行うことができました。

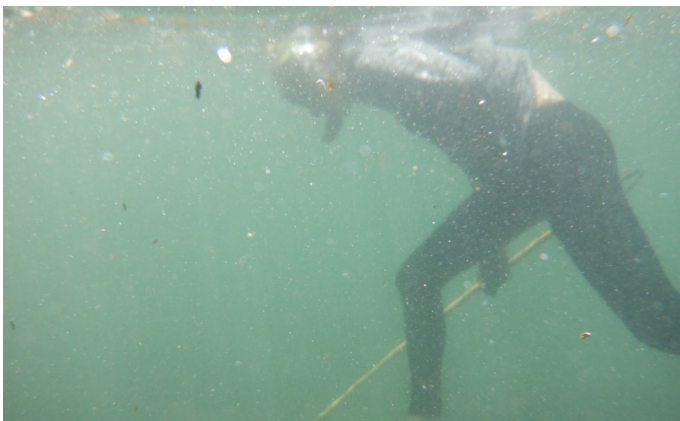
海岸清掃 7/2(日)



大田市海岸一斉清掃日のこの日、海キャンプサイトのひとつ朝山町島津屋地区で海岸清掃を行いました。皆大小さまざまな漂着物に圧倒されながらも、手足を動かし遅くゴミを回収。地域の方からもたくさん「ありがとうねえ」と言っていました。海岸には綺麗な小石や、そのほか何やら物珍しい漂着物も！？よく見ると発見がいっぱいの楽しい海岸清掃になりました。

海キャンプ In 島津屋

7/16(日)～17(月・祝)



先々週の第1回目の海キャンプは大雨で中止。第2回目の海キャンプは、まるで「1回目が悪天候だった分おまけしておいたよ」と言わんばかりの快晴の下、無事行うことが出来ました！少し波のコンディションは荒めでしたが、強い日射で肌がじりじりする程のものでした。皆入水できて大喜びでした。海キャンプの肝とも言える「食材調達」は荒波で視界不良でしたが、継続生中心に「ヤス」を使い器用に魚を突いたり、「ボベ」と呼ばれる岩場の貝を食べる量だけ採取していったりと、皆夕食に使う動物性たんぱく質類を得ることができていました。

夕食作りからは裏山キャンプでの経験を活かし、皆要領よく火起こし・調理準備を進めていきました。火起こしや調理が想像通りできなかった班もあったようですが、稲井指導員曰く、大事なものは「諦めずに本気で向き合うこと」。2学期に控えたソロキャンプに向けて、今回の海キャンプの経験を振りかえり、是非今回の学びを活かして行ってほしいですね！

サヒメル観覧 7/8 (土)



もともと第1回目の海キャンプだったはずの7月8日。雨天プランに変更、ということで、急遽皆で「三瓶自然館サヒメル」にお邪魔することになりました。センターの活動としてサヒメルに来たのは継続生も初めてということで、皆展示の数々に興味津々。一番盛り上がっていたのは参加型サヒメルクイズコーナー。1日じゃ足りない！と思うほどの面白さでした！

夕食作り 7/8 (土)



畑はキュウリ・ピーマン・万願寺唐辛子など、まさに夏野菜の収穫最盛期。調理担当の細川さんに調理していただいて食べるだけでなく、自分たちの手で野菜を調理してご飯を作ってみよう！という目的で、この日は「夏野菜カレー & キュウリの副菜」を作ることに。あの時植えた野菜達が、こんなに旨味たっぷりのご飯になるなんて！と感動する、とびきり美味しい夕食が出来ました。

バームクーヘン作り 7/9 (日)



前日に引き続き雨模様だった9日は、午前中に市立中央図書館へ行き、午後はバームクーヘン作りを行いました。指導員が採取してきた竹に学園生が作った生地を流しかけ、熱い炭火を前に汗をぬぐいながら重ね焼きしていきました。出来たものは学園生が切り分け。「大きいのが食べたい！」と意気込む学園生もいましたが、あれ、意外と質量あるかも…？と、皆お腹いっぱいになりながら食べたのは、ちょっとした裏話です。

五十猛祭 7/15 (土)



毎週金曜日に行っている「太鼓クラブ」。五十猛町で開催された「五十猛祭」にて、その練習の成果を発揮してきました。発表を週末に控えていたその週の平日は、毎日のように自主練に励む学園生もいました。「失敗してもいいから本気でやり切ることが大事」という稲井指導員の言葉を受け、皆堂々と迫力ある太鼓の音を会場に轟かせました。演目後は漁師さんの船でクルージングへ。素敵なお褒美をいただきました！

畑作業 7/15 (土)



1学期最後の畑作業となったこの日。メインの活動内容は、4月に植えたじゃがいもの掘り出しでした。無事大きく育っているか、育ったじゃがいもが土寄せした土を割って青くなっていないかなど、期待と不安を抱きつつ皆で掘り出しました。小ぶりなじゃがいももありましたが、よくスーパーで見かける大きいサイズのじゃがいもも同じくらい収穫できました。じゃがいもの茎葉部分を持って引っこ抜くだけでは、地中に点在するじゃがいもをもれなく回収することは出来ないのです。収穫する人と土をほぐす人に分かれ、取りこぼしが無いよう皆で連携しました。実は今の畑には、昨年じゃがいもを育てたエリアから勝手に取りこぼしのじゃがいもがいくつか自生し、青々と葉を茂らせています。植物の力って本当に力強く、驚かされますね！

西村崇司のつぶやき

＼夏は実のもの／

北三瓶に通う通勤は大田市街の平坦地からだんだらと登っていき、センター手前1.5km付近の石見と出雲の国境にあたるいわゆる境木（さかいぎ）の三叉路を右折すると眼前に三瓶山の北斜面が広がります。地元の方には日常の風景かも知れませんが圧巻です。それだけではなく季語に使われる山滴る、山笑う、山よそおう、山眠るの意味合いを肌感覚で知ることができることはうれしいです。今年の4月初め、矢田の父さんが「今年はあるという間に木々に葉っぱが着いたが」とつぶやきました。わたしも三瓶山の中腹部が一気に黄緑色になっていくのを不思議に思っていたので、ずっとこの地に住まれている方に少し近づいたのかなとうれしくなった記憶があります。

さて、センターの前庭の畑ではいま夏野菜がなり時を迎えています。自宅の畑で数年前まで父がこまめに野菜づくりをしていたことを思い出します。7月初めからキュウリ、ピーマンに始まりミニトマト、オクラ、インゲン、ナスがどんどん大きくなり畑の見回りと収穫は毎日続きます。京都におすまいの和食の料理人亭主が、料理する野菜の四季ということで「春は芽のもの 夏は実のもの 秋は根のもの 冬は春を待つもの」と書かれていました。無ければ無いことを嘆き、ありすぎるとその処分に悩むのは人間のエゴなんでしょうけれど、畑の見回りをおこたるとバケモノのように大きくなったキュウリや皮が破れたナスを見るにつけ「リョウシン ノ カシャク」を感じずにはられません。そんなこともあって一時期、「ぬか漬け」作りをしたことを思い出して今年に再チャレンジしています。その時はおいしくできたので2匹目のどじょうをねらった訳ですが、現在のところまったくおいしくなっていません。勘だけで作っているから仕方ないですが、おいしくできたら学園生に差し入れしようと思っています。ところで、先の野菜の四季に「冬は春を待つもの」とあります。こういった表現に出会ったことは初めてでまだ理解できず気になっています。野菜作りが好きな方であれば言わんとすることがよくわかるのでしょうか。一度、たずねてみたいと思っています。

【10/28 開催計画の20周年記念事業の中止のお知らせ】

くにびき通信5月号の巻頭で「今年が開所20周年の記念の年で、10月28日（土）には国立三瓶青少年交流の家を会場にして記念事業を計画しています」と書きましたが、諸般の事情により今年度の開催を中止とし令和6年度秋に開催することにします。開催の詳細が決定次第改めてご案内します。

https://www.city.oda.lg.jp/ohda_city/city_organization/20/609/7540

「くにびき通信」2023年7月号



大田市
山村留学センター
Sanbe Kodama Academy

〒694-0002 島根県大田市山口町山口1694

TEL:0854-86-0700 FAX:0854-86-0701 Email:o-sanryu@city.oda.lg.jp



大田市山村留学センター
公式ホームページ



くにびき通信
カラ版